

2022年6月号

山形県最上総合支庁 隔月発行  
最新情報はツイッターでご覧ください



金山町大堰の鯉放流

## 最上の発展に向けた思いを共有 最上創生懇談会

最上地域で様々な分野で活躍する実践者の声を聞き、県の施策展開に活かす「最上創生懇談会」を4月27日オンラインで開催しました。「ポストコロナを見据えて」をテーマに、出席した9名の実践者から最上地域の現状や課題、地域発展に向けた今後の取組みについて意見をいただきました。懇談では、「業種を超えているんな分野の人と情報共有やつながりを作ることが大事。」といった意見や「高校生、大学生、地元企業が連携してまちを作っていけば、もっと活気のあるまちになる。」などの発言がありました。

吉村知事からは、「いろいろな業種、立場からそれぞれの思いをもって活動していることを実感し、最上の力を感じた。異業種連携、広域連携しながら、最上の発展に向けて皆さんと一緒に取り組んでいきたい。」との発言があり、参加者の皆さんと今後に向けた思いを共有しました。

[連携支援室 29-1239]



## 最上管内選出県議会議員との意見交換

5月17日、最上総合支庁において、「最上総合支庁 県政懇談会」が開催されました。最上地域選出4名の県議会議員の出席のもと、意見交換が行われました。

意見交換に先立ち、泉最上総合支庁長からは、今年度の主な取組み等の説明があり、その後、新型コロナウイルス感染症の最上地域の状況や、原油・原材料の高騰などによる地域経済への影響のほか、関係公所の主な取組みについて、説明を行いました。

また、電気料高騰への対応、新型コロナワクチンの3回目の接種状況や4回目への対応状況、接種率の向上に向けた対応などについて、意見交換を行いました。

[総務課 29-1211]



## 若者の地元定着・回帰に向け取組みを オールもがみ若者定着・人材確保推進会議

5月31日、雪の里情報館にて、今年度第1回目の「オールもがみ若者定着・人材確保推進会議」を開催しました。経済界や行政機関、教育機関など、約60名の参加を得て、今年度の「オールもがみ」の主な取組みに係る説明を踏まえ、職場体験や、オンライン企業説明会の開催、特に地元を離れた若者の「回帰」に向け、地域が連携し取り組むことを確認しました。

山形大学学術研究院 松坂暢浩 准教授の基調講演「大学生における就職活動の傾向を踏まえた地元回帰の取組みとは」では、今の大学生の就活の考え方の傾向について説明があり、「企業が学生に選ばれるためには、採用情報発信の工夫やインターンシップが有効」とのアドバイスをいただきました。続いて、6月1日の高校生向け求人受付開始に先だち、ハローワーク新庄・最上地域の高校・自治体の長・最上総合支庁から、地域の経済団体に対し、新規高校卒業者求人早期提出の要請を行いました。

[地域産業経済課 29-1309]



## 地域へのさらなる広がりを 新庄・最上ジモト大学 総会



高校生と地域住民の対話を通し、高校生が主体的に学ぶ姿勢を育むとともに、将来の定住や地域の中核となる人材の育成を目的とした「新庄・最上ジモト大学推進コンソーシアム」総会を4月19日に開催しました。

事業報告では、新たに尾花沢市が参画し取組みの輪が広がったことや、これまでで最も多い34プログラムを実施し、延べ900名を超える高校生に参加いただいたことが報告され、新型コロナウイルスによって様々な社会活動が制限される中、プログラム参加をきっかけに高校生同士がつながりを深めて、主体的に地域活動に取り組んでいる好事例も出始めていることが紹介されました。

また当日は、ジモト大学開校当初からサポートいただいている大正大学 浦崎教授より「『最上級』のコンソーシアムに向けた次なる挑戦」と題してご講演いただき、地域連携の重要性を改めて確認することができました。

今年度は、ジモト大学が地域の新しい活力を生み出す場となっていくよう、企業や団体等との連携を図り、ジモト大学の輪をさらに地域全体に広げていけるよう取り組んでまいります。

[連携支援室 29-1239]



## 最上地域の課題を研究 最上地域政策研究所辞令交付式

最上地域の諸課題について調査研究し、政策推進に資するとともに、職員の政策形成能力の向上を図ることを目的とした「最上地域政策研究所」の第6期の研究員への辞令交付式を、5月13日に最上総合支庁特別会議室にて行いました。

最上8市町村と最上総合支庁の職員の計10名が、研究所所長である泉総合支庁長から辞令書を受け取り、各研究員は研究活動にあたっての抱負を述べました。

第6期の研究テーマは「デジタル化の進展を見据えた新たな施策の展開」です。辞令交付式のあと、各研究員は研究の意義や研究テーマに対する考えを語り合い、研究への意識を高めました。

2年間の研究活動を通して、県や市町村の職員のスキルアップを図るとともに、最上地域の課題に対して効果的な施策を研究、議論し、最上地域の各自治体に提案してまいります。

(写真は撮影の際のみマスクを外したものです)

[連携支援室 29-1238]



## 外国人介護人材定着へ

～ミャンマー人介護人材支庁長表敬訪問～



社会福祉法人かつろく会が運営する老人保健施設「新庄薬師園」及び特別養護老人ホーム「かつろくの里」で、ミャンマーから外国人介護人材4人を受け入れることになり、5月12日に、外国人介護人材4人とその関係者が支庁長を表敬訪問しました。4人は、ミャンマーで学んだ日本語と介護技能を生かして、最上地域の福祉向上に貢献したいと語っていました。



[地域健康福祉課 29-1276]

## 実演！静かで速い‘にら’の収穫機

5月24日、農業技術普及課産地研究室のほ場で、県内企業((株)サンユース技研)とJA全農山形、産地研究室が連携して開発している、にらの収穫機の実演会を開催しました。

深夜～早朝の作業でも迷惑にならない静かな電動モーター駆動方式で、操作が簡単、収穫する高さが調節できるなど、様々な工夫が施されています。

収穫作業の実演では、きれいな切り口のにらがどんどん収穫されました。

今後は、来年度の販売を目指して管内の大規模生産者に使っていただき、導入効果を確認するほか、更なる改良を行う予定です。



[農業技術普及課産地研究室 22-2201]

## 最上の山菜をオンラインで手軽に料理！

5月15日、ニューグランドホテル新庄の今田シェフを講師に迎え、最上の山菜を使ったオンライン料理教室を開催しました。

県内だけでなく、北海道や大阪府など、遠方の方からも気軽に参加いただきました。

参加者からは、「山菜なのに苦みがなく美味しい」「思ったよりも手軽に調理できた」「自宅なので気軽に参加できた」などの声があり、大変好評でした。

今後もこのような取組みを通じて、最上地域の農産物をPRしてまいります。

[農業振興課 29-1316] 【料理教室風景】

### 【料理写真】

上：しどけの肉巻き  
下：わらびのたたき



## 個別支援計画でお子さんへより良い支援を！

5月12日、最上総合支庁において、保育士や幼稚園教諭等を対象に、発達に関して気になるお子さんの個別支援計画作成研修会を開催しました。

最上総合支庁では、最上地域発達障がい児等相談事業の一環として、令和元年度から本研修会を開催しており、同じ悩みを持つ保育士等の情報交換の場にもなっています。

今後も最上地域の保育士等の支援を通して、気になるお子さんの保育や保護者の後方支援を継続してまいります。



[子ども家庭支援課 29-1361]

## 賑わいのある最上小国川に！

4月21日、最上小国川清流未来振興機構の代表者会議が舟形町中央公民館において開催されました。この組織は最上小国川流域の振興を目的として、最上町、舟形町、小国川漁業協同組合、山形県及び流域振興に取り組む団体で構成されています。

会議では流域の将来像を実現するために策定している最上小国川清流未来振興計画に基づく昨年度の事業実績・決算、及び今年度の事業計画・予算について承認を得ました。

今年度は「鮎釣り甲子園大会」や、最上小国川の魅力をテーマにした「写真コンテスト」など清流最上小国川に多くの人に関わるような事業を実施してまいります。

[連携支援室 29-1240]



## きれいな最上小国川のために！

5月12日に最上小国川の環境美化やイメージアップを図るため、最上町赤倉地区から舟形町富長橋付近まで約40kmで「最上小国川集中クリーンアップ大作戦」を小国川漁業協同組合、山形県建設業協会最上支部の協力のもと実施しました。川岸を中心に、プラスチックや鉄くずなどのゴミ880キログラムを回収することができました。

今後も最上小国川の景観や河川環境を守っていくよう、関係団体と協力して取り組んでまいります。

[連携支援室 29-1240]



## 新卒採用・定着のコツは！？

### 「若者から選ばれる企業となるために」

5月19日、「採用力向上セミナー」を開催し、地元企業の人事担当者など約20名に参加いただきました。

合同会社 work life shift 代表の伊藤麻衣子氏から、今の大学生・高校生（Z世代）の考え方や仕事観を踏まえ、企業情報を就職希望の学生・生徒にどう伝えたらいいかについて講座を行いました。

参加者からは、「違った視点の重要性を認識した。」「わかりやすく、興味深い話が多かった。」との感想が聞かれました。

今後も、最上地域の企業の魅力発信を支援してまいります。



[地域産業経済課 29-1309]

## ダメ！不法投棄！

～不法投棄防止合同パトロールを実施しました～

5月10日から19日にかけて、最上総合支庁、市町村及び（一社）山形県産業資源循環協会等が最上管内8市町村の合同パトロールを実施しました。

今後も関係機関と連携して監視を強化し、不法投棄ゼロを目指します。



(写真)新たに発見された不法投棄 [環境課 29-1287]

## お知らせ

### 地域連携 IC カード cherica<sup>チェリカ</sup> 5月14日サービス開始！

県内の路線バス等で一斉に IC カードによるキャッシュレス決済が始まります。整理券や現金が一切不要になり、機械にカードをタッチするだけで簡単に乗り降りができます。バスに乗ると交通ポイントが貯まるほか、電子マネーを利用した買い物などでもできる多機能なカードとなっておりますのでぜひご利用ください。

[総合交通政策課 023-630-2161]

#### ◆対象バス路線

- ・山交バス(株)、庄内交通(株)が運行する路線（一部高速バス路線を除く）
- ・山形市コミュニティバス東部および西部循環線（ベニちゃんバス）
- ・山形空港シャトル
- ・米沢市民バス

チェリカ販売場所や定期券情報など詳しくは山交バス(株)または庄内交通(株)のホームページをご覧ください。



(yamako cherica)



(shoko cherica)



### 第7回最上小国川写真コンテスト 作品募集中！

最上小国川清流未来振興機構では、最上小国川の大切さを再認識し、未来に伝える機運を醸成するため、「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」をテーマに、最上小国川の魅力（流域文化、風景、体験や思い出など）を撮影した写真を募集しています。

■募集期間：令和4年11月30日（水）まで

■応募資格：どなたでも応募できます

■入賞：最優秀賞1点、優秀賞3点程度、入選5点程度、特別賞3点程度

※賞金及び最上小国川流域の特産品を贈呈

■審査結果発表：令和5年1月頃予定

詳しくはHP (<https://seiryu-mogamiogunigawa.jp/>)

をご覧ください。



[連携支援室 29-1240]

▼第6回最優秀賞

「それぞれの想い」



▼第6回優秀賞

「川遊びの姉弟」



### 「東北のへそ」フォトコンテスト2022 開催！

今年も Instagram で、フォトコンテストを開催し、「東北のへそ」地域の魅力あふれる風景や食べ物、イベントなどの写真を募集します。

入賞された方には、「東北のへそ」地域の特産品のプレゼントも準備しております。

#### ○応募方法

【step1】「東北のへそ」公式アカウント(@tohoku\_hesostagram)をフォロー

【step2】「東北のへそ」地域の写真を撮影（過去の写真でも OK）

【step3】「#第1回へそコン2022」をキャプションに付け、撮影場所を明記の上、投稿

#### ○期間

令和4年6月1日（水）～ 8月31日（水）

※ 第2回も令和4年10月1日（土）から開催予定です。

たくさんのご応募、お待ちしております！！

「東北のへそ」とは東北地方を人の身体に見立てると、ちょうど「おへそ」の位置にある山形県最上地域、宮城県大崎地域、秋田県雄勝地域のこと。



詳しくはこちらから

[観光振興室 29-1312]



## 『祈るあなたが観音様』 ～世界が平和でありますように～

新型コロナウイルス感染症が蔓延したことを受け、2年間延期しておりました「最上三十三観音子歳連合御開帳」が、本年開催となりました。

最上三十三観音霊場のご本尊は「秘仏」として通常は非公開ですが、特別な十二年に一度、ご縁年である子歳の6ヶ月に限り御開帳されます。また、国内の観音霊場が総じて堂外に立って参拝する「立行（りつぎょう）」であります。最上霊場では入堂して座って拝む「座行（ざぎょう）」が伝わり、間近にありありと観音様を拝観することができ、特にありがたい御開帳として有名です。（最上三十三観音公式HPより引用）御開帳記念の特別印（第4印）・記念散華・記念御影もご用意しております。



○時期：令和4年5月1日（日）～10月31日（月）

この機会に、最上地域を周遊してみたいかがですか。

最上三十三観音公式HP

[観光振興室 29-1312]

### 寄付金つき地産地消定食

～食べて応援!! 地産地消でSDGs～

県産農林水産物をおいしく味わいながら「SDGs（※）」にも取り組める、そんな新しい地産地消定食がスタートします。どなた様もお気軽にお立ち寄りください。

実施：6、7、9月、R5年2、3月の各19日を含む1週間  
⇒6月は13日（月）～17日（金）  
場所：最上総合支庁食堂「千起」  
価格：650円（1食あたり50円を県内でSDGsに貢献している団体に寄付）

（※）SDGsとは、国連が定めた持続可能でより良い社会を目指す世界共通の目標です。  
[農業振興課 29-1315]

### \*親子で参加！歌と手遊びイベント開催\*

プロの先生方が歌のおねえさんのように歌と手遊びを披露する『～最上地域みんなで子育て応援団～オンラインmocoマルシェ』を開催します。

Zoomによる参加ですので、気軽にお申しください。



日時：令和4年7月8日（金）

10:30～11:00

★英語の歌  
押切真代氏（英語教室主宰）

★手遊び  
最上地域の保育園の先生方  
申込：左記QRコードからお申込



※ 申込期間 6/10～7/1

[子ども家庭支援課 29-1245]

## みんなで防ごう土砂災害

梅雨の時期が近づき大雨になりやすい季節になります。大雨になると土石流、がけ崩れ及び地すべりが心配されます。気象情報や土砂災害警戒情報などに注意して下さい。

最上管内8市町村の土砂災害危険箇所について6月15日、16日に住民、行政、警察、消防などの関係機関による合同点検を行います。関係機関が連携を図り災害の防止や軽減に努めてまいります。

また、斜面などに異常が発見されましたら、各市町村や最上総合支庁河川砂防課までご連絡下さい。

[河川砂防課 29-1407]

## クマに注意！

冬眠明けのクマに注意しましょう。

毎年5月～7月にかけてクマの目撃情報が急激に増加します。今年の5月には県内でも山菜取りの際に人身被害が発生しています。

山菜取りなどで山や林に入るときや田畑に出るときは、ラジオやクマ鈴、笛など、音の出る物で、**人の存在をクマに知らせましょう。**

万一クマに出会ったら、背を向けずにゆっくり後退し、その場を離れてください。

[環境課 29-1285]



### 細菌性食中毒に気をつけましょう！

気温が高くなる春から夏にかけては細菌性食中毒が発生しやすい季節です。食中毒は飲食店だけでなく家庭でも起きていますので、次の3つのポイントに注意し、予防しましょう。

- 1 細菌をつけない。
  - ★食品や調理器具はこまめに洗いましょう。
  - ★食品を取扱う前など、よく手を洗いましょう。
- 2 細菌を増やさない。
  - ★調理した食品は早く食べましょう。
  - ★冷蔵庫・冷凍庫は詰めすぎず、7割程度に。
- 3 細菌をやっつける。
  - ★加熱食品は中心まで十分熱を通しましょう。
  - ★生野菜は流水で十分洗いましょう。

[保健企画課生活衛生室 29-1261]

### 「歯と口の健康週間」について

6月4日から6月10日までは「歯と口の健康週間」です。いつまでもおいしく食事を取り、健康で長生きするためには、歯の健康を保つ必要があります。定期的に歯科医院で検診を受け、毎日の歯磨きの仕方やケアの方法を見直すことをおすすめしています。毎日の積み重ねが大切です。今から歯を大切にしましょう！

歯の情報を掲示中です。お立ち寄りください。



掲示期間：6月3日(金)～6月10日(金)

場 所：最上総合支庁1階ロビー

内 容：パネル・ポスター展示



[地域健康福祉課 29-1267]

### ～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な感染防止対策の徹底をお願いします！

全国では、大型連休後に感染拡大の傾向が見られましたが、その後は全国的に新規感染者数の減少傾向が続いています。

本県でも、県民の皆様及び事業所の皆様のご協力により新規感染者数は減少傾向となっておりますが、いまだ高い水準にありますので、気を緩めずに感染防止対策を徹底していく必要があります。

県民の皆様及び事業者の皆様におかれましては、引き続き、以下のことについてご理解、ご協力をお願いします。

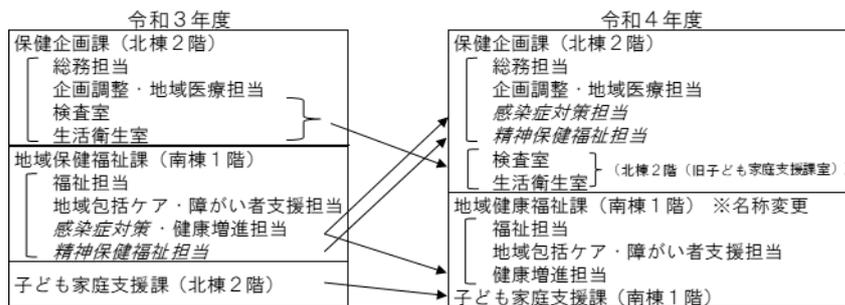
- ・不織布マスクの正しい着用や、ゼロ密（密閉、密集、密接の全てを避ける）、換気の励行、こまめな手洗い、消毒など基本的な感染防止対策の徹底を引き続きお願いします。
- ・これから夏に向けて、熱中症のリスクが高まります。屋外で2m以上の距離が保てる場合や、屋内でも、他者との距離が十分に確保でき、会話がほとんどない場合はマスク着用の必要はありません。距離が保てない場合や会話を行うときはマスクの着用をお願いします。
- ・発熱・咳など、少しでも体調が悪い場合は、外出や移動を控え、事前に医療機関に連絡し、受診してください。

[保健企画課 29-1268]

### 保健福祉環境部の組織改編に伴う課室の移動について

令和4年度の組織改編に伴い、表のとおり保健福祉環境部内の課室の移動がありました。県民からの相談や疫学調査等へよりの確かつ機動的に対応するため、保健企画課と感染症・精神保健福祉担当を一体化するものです。

[保健企画課 29-1257]



発行日：令和4年6月7日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



Twitter



HP

